



Panasonic[®]

施工説明書

歩行補助用手すり でかけレールD

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特にご使用前に「安全上のご注意」(2ページ)は、施工される前に必ずお読みください。
- 取扱説明書は、お施主様に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。
紛失したり汚れたりしないよう大切に保管し、施工完了後必ずお渡しいただき使用方法、メンテナンスなどを説明してください。

もくじ

安全上のご注意	2
施工上のご願い	3
部品の名称	4
施工例	6
施工手順	8
仕上げおよび施工後の確認	裏表紙
施主様への引き渡し	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

 禁止	断崖地、ベランダの柵、窓格子などに使用しない 〈でかけレールD〉は歩行補助用であり転落防止の機能はありません。	 必ず守る	部材が重量物の場合、運搬、取り付け作業は2人以上で行う けがのおそれがあります。
 必ず守る	施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因になります		高所作業の場合、施工は十分に安全な足場を設ける けがのおそれがあります。
			各部品を取り付ける際の下孔径は必ず守る 強度が不足しけがのおそれがあります。

施工上のお願い

●(アルミ)製品は施工時の取り扱いによって異常腐食を起し、思わぬトラブルとなりますので、次のような点にご注意ください。

- 1.モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれている場合もあり腐食の原因になりますので、使用を避けていただくか十分水洗いしたものを使用してください。
- 2.モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむらなどの外観不良や腐食の原因になります。
- 3.モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウムなどの入っていないものを使用してください。
- 4.施工時に(アルミ)製品の表面に付着したモルタルやコンクリートは速やかに清掃してください。また、表面に傷をつけますと腐食しやすくなりますので取り扱いには十分注意してください。
- 5.アルミ製品と銅板やラスなどの異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープなどを貼るか塗料などで絶縁処理をしてください。
- 6.腐食のおそれのある接着剤や化学製品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- 7.製品の埋め込み深さは、各製品ごとに決めてあるので、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)、基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 8.アンカーについてはアンカー施工のポイントをたたく理解し施工してください。

●強度確保のため、下記の項目を守ってください。

- 1.基礎穴は基準通りに設ける。
- 2.各部材の組み立て、取り付けは説明書通り確実に行う。
- 3.ねじ止め箇所は、指定のねじですべて確実に行う。

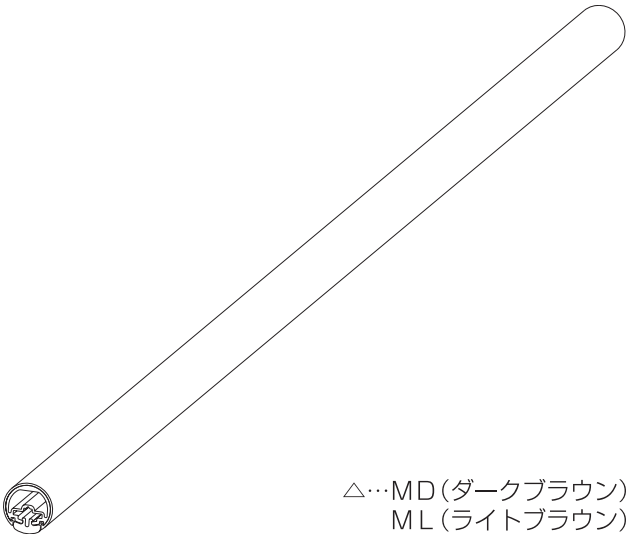
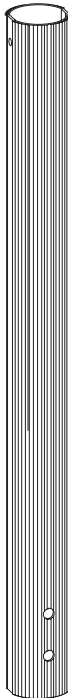
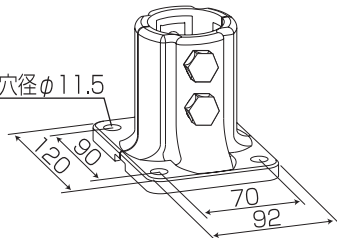
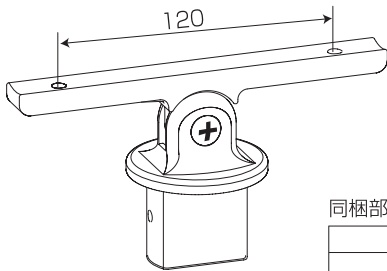
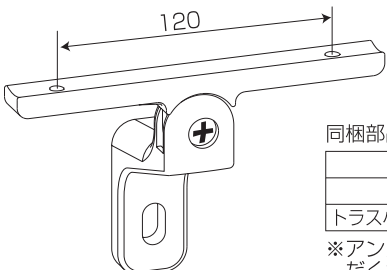
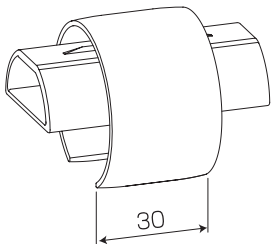
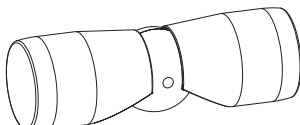
●むやみに改造しないでください。改造された場合は、商品の保証を致しかねます。

●その他この施工説明書に記載されない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

●商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

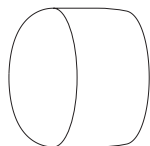
部品の名称

△内には色品番が入ります。 MD (ダークブラウン) ML (ライトブラウン)
 ◇内には色品番が入ります。 MB (ミディアムブラウン) S (アートシルバー)
 □内には色品番が入ります。 ME (ハーモニーブラウン) S (アートシルバー)

手すり	柱(埋め込み)	柱(後付け)																				
 △…MD(ダークブラウン) ML(ライトブラウン) (φ35) ・ VAT4312△(中間用L1200) ・ VAT4315△(端部・単体用L1500) ・ VAT4324△(中間ロング用L2400) 同梱部品 <table><tr><th>呼 称</th><th>手すり長さ</th><th>手すり本数</th><th>手すり下部材長さ</th><th>手すり下部材本数</th></tr><tr><td>L1200</td><td>1190</td><td>1</td><td>1150</td><td>1</td></tr><tr><td>L1500</td><td>1500</td><td>1</td><td>1300</td><td>1</td></tr><tr><td>L2400</td><td>2390</td><td>1</td><td>1150</td><td>2</td></tr></table>	呼 称	手すり長さ	手すり本数	手すり下部材長さ	手すり下部材本数	L1200	1190	1	1150	1	L1500	1500	1	1300	1	L2400	2390	1	1150	2	 VAT4508◇ (H800用) VAT4500◇ (H1000用) VAT4502◇ (H1200用) ◇内には 色品番が 入ります。 MB(ミディアム ブラウン) S (アート シルバー) (ME(ハーモニー ブラウン)は廃番)	 VAT4518◇ (H800用) VAT4510◇ (H1000用) VAT4512◇ (H1200用) ◇内には 色品番が 入ります。 MB(ミディアム ブラウン) S (アート シルバー) (ME(ハーモニー ブラウン)は廃番)
呼 称	手すり長さ	手すり本数	手すり下部材長さ	手すり下部材本数																		
L1200	1190	1	1150	1																		
L1500	1500	1	1300	1																		
L2400	2390	1	1150	2																		
柱土台金具	柱上部受座																					
VAT460□  同梱部品 <table><tr><th>名 称</th><th>数 量</th></tr><tr><td>調整用ライナー</td><td>4</td></tr><tr><td>六角ボルトM8×70</td><td>2</td></tr><tr><td>六角袋ナットM8用</td><td>2</td></tr><tr><td>M8用ワッシャ</td><td>4</td></tr></table> ※アンカーボルトは現地調達いた だくか、VAT9460□を手配 ください。	名 称	数 量	調整用ライナー	4	六角ボルトM8×70	2	六角袋ナットM8用	2	M8用ワッシャ	4	VAT480□ (φ40・φ35手すり共通部品)  同梱部品 <table><tr><th>名 称</th><th>数 量</th></tr><tr><td>裏板</td><td>1</td></tr><tr><td>トラス小ねじM5×12</td><td>4</td></tr></table>		名 称	数 量	裏板	1	トラス小ねじM5×12	4				
名 称	数 量																					
調整用ライナー	4																					
六角ボルトM8×70	2																					
六角袋ナットM8用	2																					
M8用ワッシャ	4																					
名 称	数 量																					
裏板	1																					
トラス小ねじM5×12	4																					
壁面取付受座	継 手	自在継手																				
VAT483□ (φ40・φ35手すり共通部品)  同梱部品 <table><tr><th>名 称</th><th>数 量</th></tr><tr><td>裏板</td><td>1</td></tr><tr><td>トラス小ねじM5×12</td><td>2</td></tr></table> ※アンカーボルトは現地調達いた だくか、VAT9483□を手配 ください。	名 称	数 量	裏板	1	トラス小ねじM5×12	2	VAT4371□(φ35)  AAS樹脂	VAT4372□(φ35)  同梱部品 <table><tr><th>名 称</th><th>数 量</th></tr><tr><td>丸皿タッピンねじ φ4×30</td><td>2</td></tr></table>	名 称	数 量	丸皿タッピンねじ φ4×30	2										
名 称	数 量																					
裏板	1																					
トラス小ねじM5×12	2																					
名 称	数 量																					
丸皿タッピンねじ φ4×30	2																					

エンドキャップ

VAT4373□(φ35)



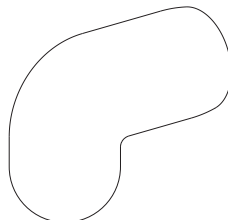
(柱・壁面共通)

同梱部品

名 称	数 量
丸皿タッピンねじφ4×30	1
施工説明書・取扱説明書	各1

柱用エンドエルボ

VAT4375□(φ35)



同梱部品

名 称	数 量
丸皿小ねじM4×25	1
なべ小ねじセムスM4×10	1
裏板(小)	1
施工説明書・取扱説明書	1

壁面用エンドエルボ

VAT4376□(φ35)



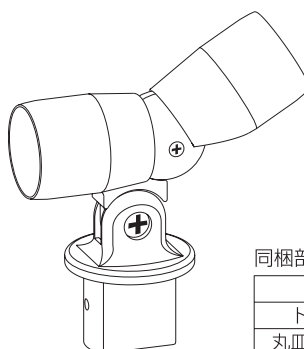
(左右各1個入り)

同梱部品

名 称	数 量
丸皿小ねじM4×25	2
なべ小ねじセムスM4×10	2
裏板(小)	2
施工説明書・取扱説明書	1

コーナー柱上部自在継手

VAT4377□(φ35)



同梱部品

名 称	数 量
トラス小ねじM5×12	2
丸皿タッピンねじφ4×30	2

壁面自在継手

VAT4380□(φ35)



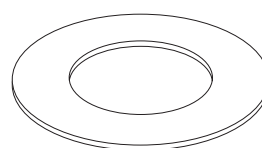
同梱部品

名 称	数 量
丸皿タッピンねじφ4×30	2

※アンカーボルトは現地調達いただくか、VAT9483□を手配ください。

足元カバー（埋め込み柱用）

VAT9450（オプション）

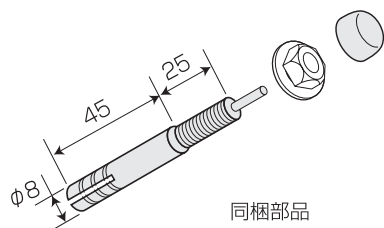


(1枚入り)

材質：ステンレス、色(ステン色)
(外形φ90、内径φ51、厚み t=2)

アンカーボルトセット

VAT9460□

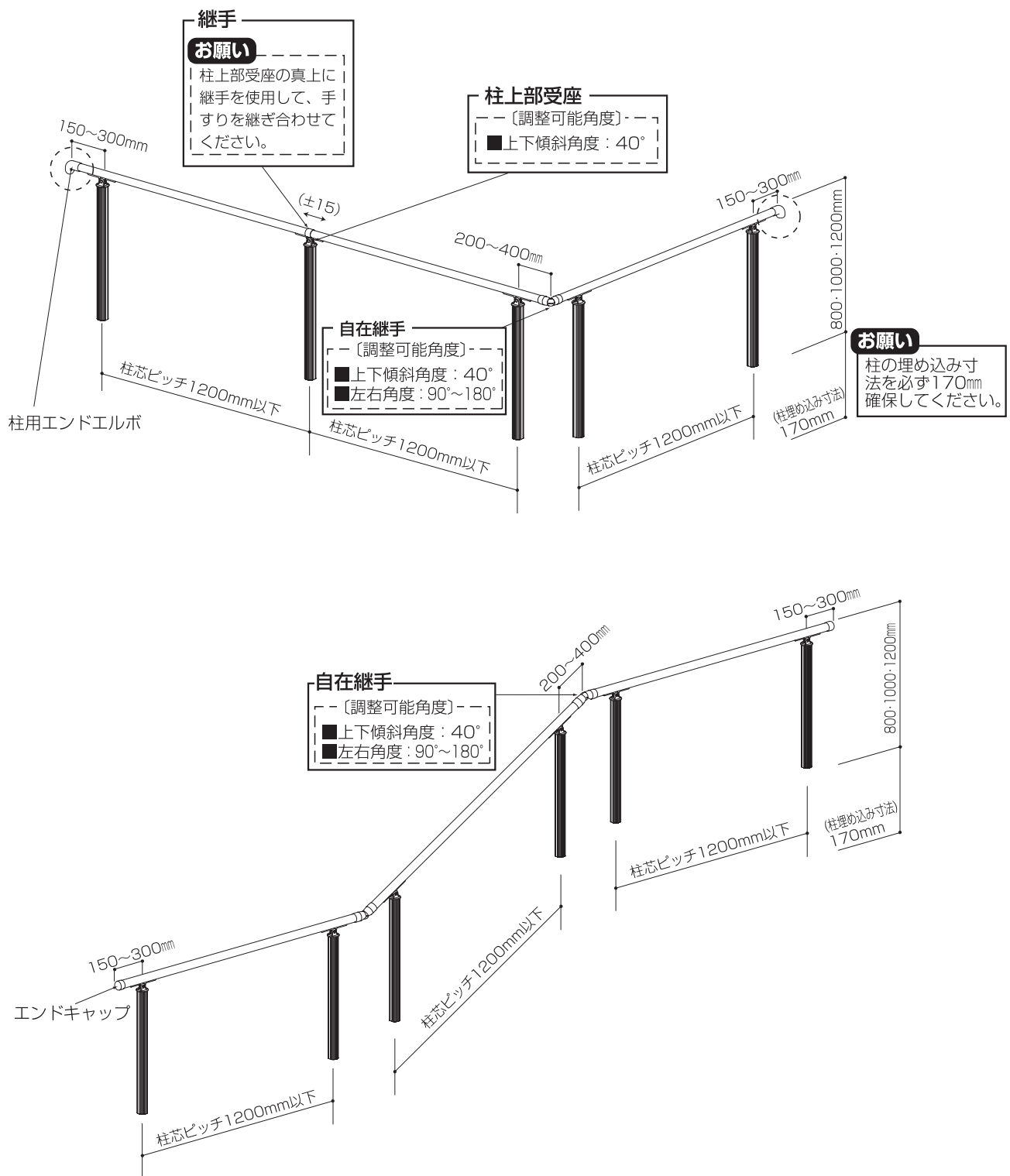


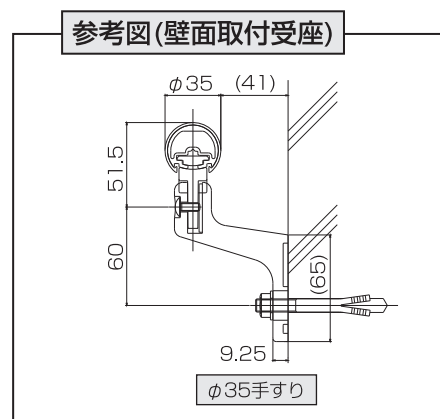
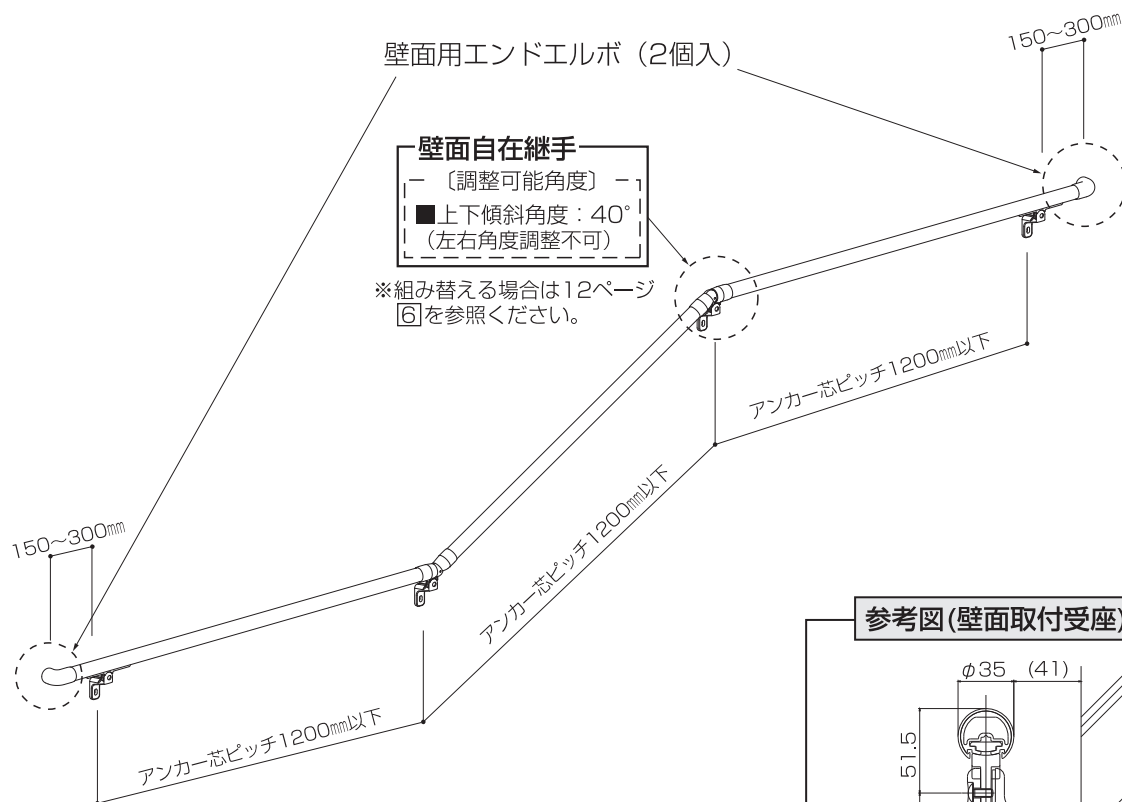
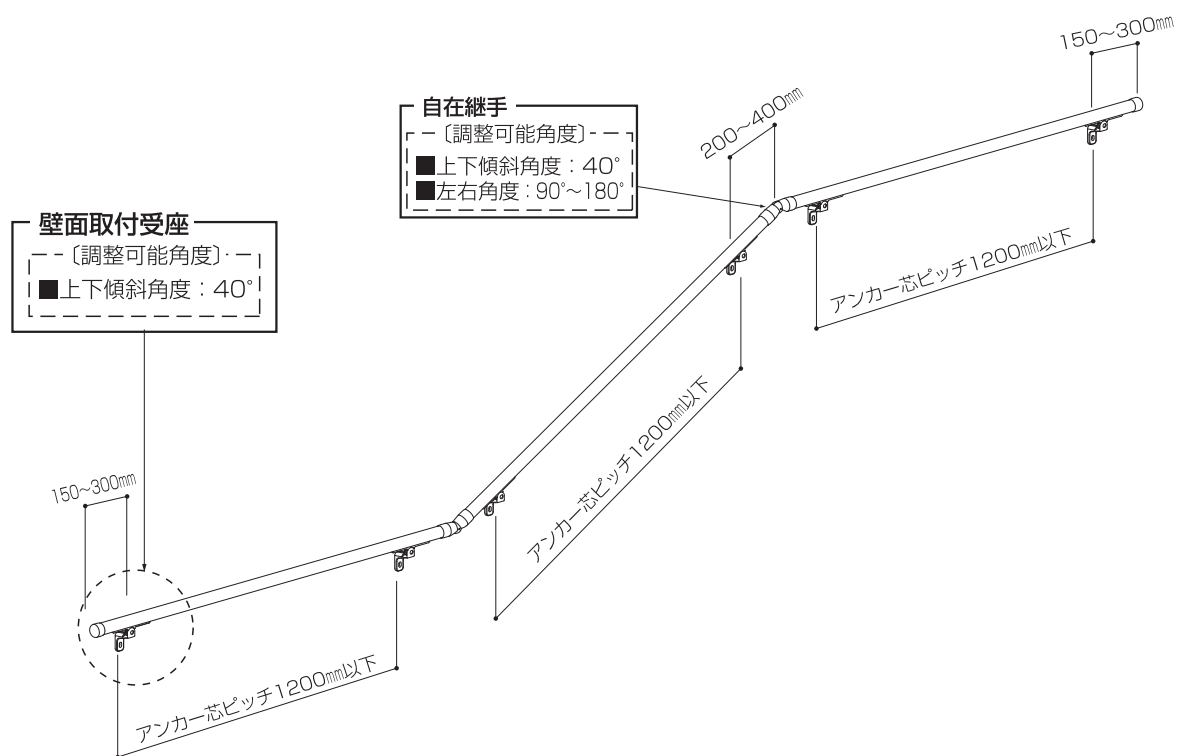
同梱部品

(オプション)

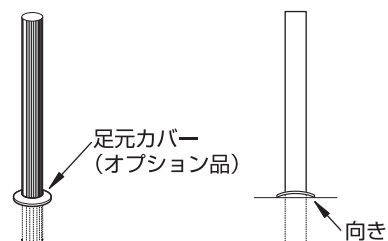
名 称	数 量
アンカーボルト(M8用)	4
ワッシャー付ナット(M8用)	4
ボルトキャップ	6

施工例





<柱の設置ポイント>



- ・足元カバーは柱に部品を取り付ける前に柱上部より挿入してください。
- ・足元カバーには向きがありますので、ご注意ください。

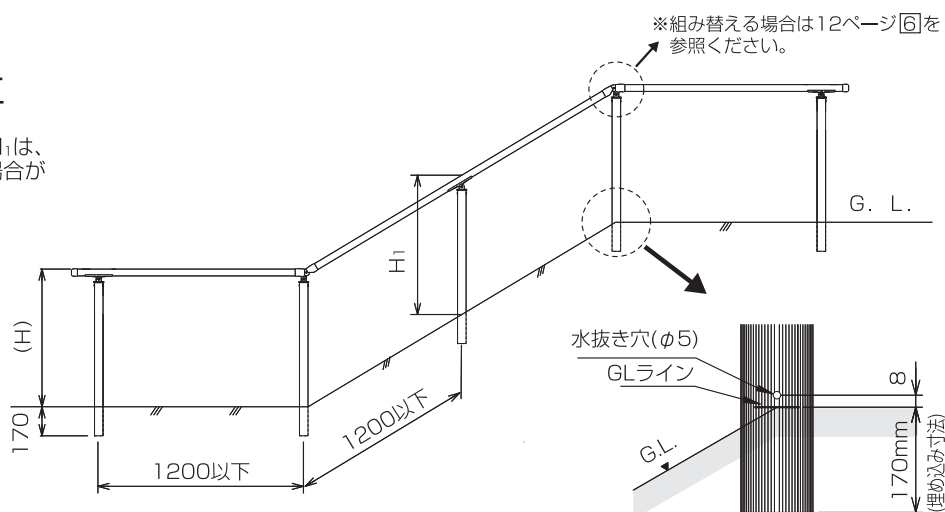
- 柱のGLラインに地面がくるよう位置合わせを行ってください。
- 柱の埋め込み深さは170mmとします。
- 水抜き穴をモルタルなどでふさがないでください。水抜き穴をふさぐ場合は、φ5の穴をあけてください。
- 柱下部の発砲スチロールははずさないでください。(凍結防止用です。)
- 柱は所定の間隔(1200mm以下)で設置してください。

1 柱(埋め込み)

1. スロープ施工

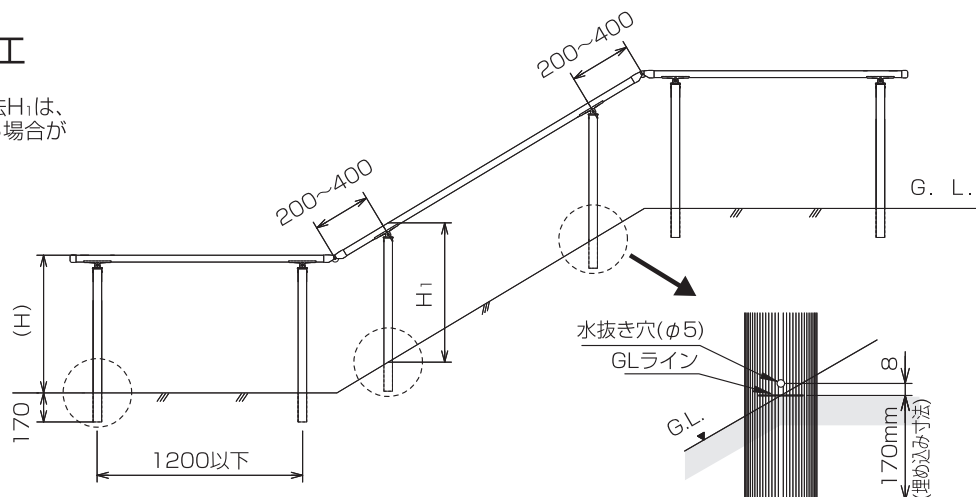
① コーナー柱1本施工

手すり上面までの高さ寸法H₁は、角度によりHより高くなる場合があります。



② コーナー柱2本施工

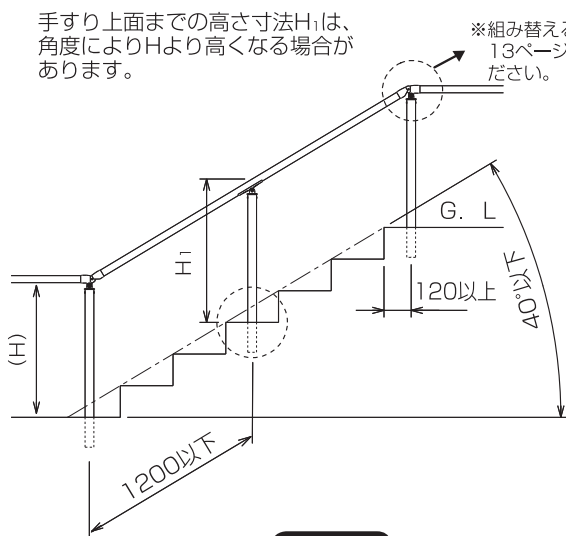
手すり上面までの高さ寸法H₁は、角度によりHより高くなる場合があります。



2. 階段施工

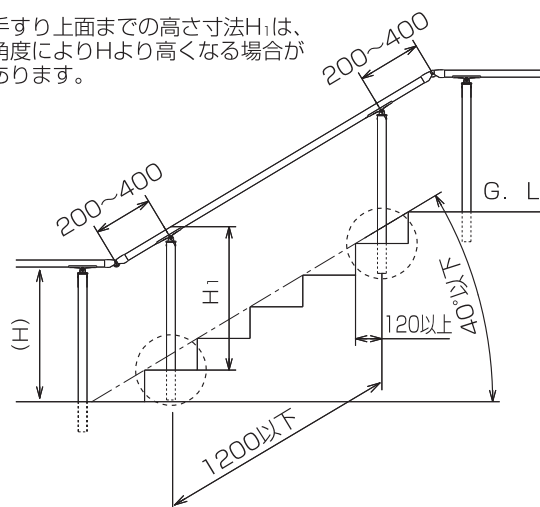
① コーナー柱1本施工

手すり上面までの高さ寸法H₁は、角度によりHより高くなる場合があります。



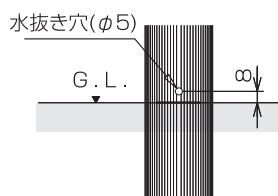
② コーナー柱2本施工

手すり上面までの高さ寸法H₁は、角度によりHより高くなる場合があります。



お願い

柱を通常より深く埋め込む場合は、再度水抜き穴をあけてください。

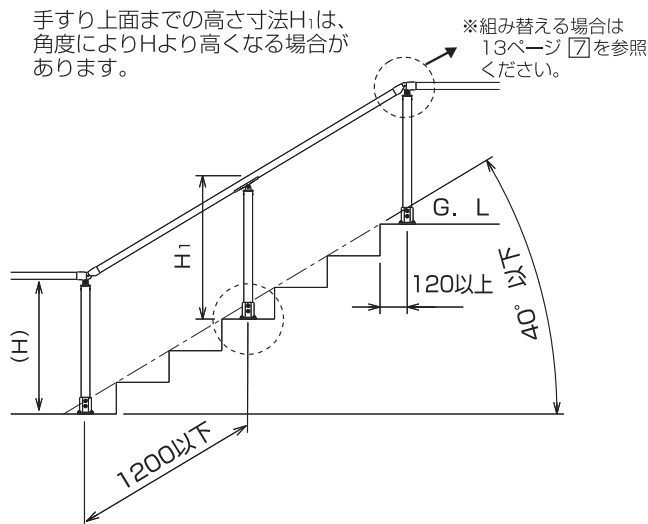


施工手順 (つづき①)

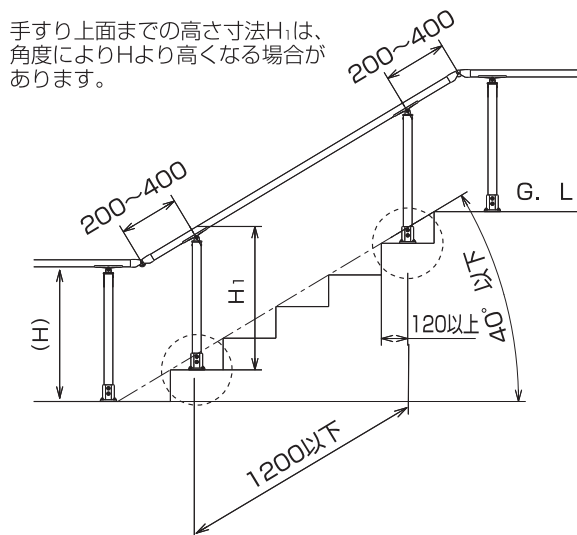
2 柱(後付け)

1. 階段施工

① コーナー柱1本施工

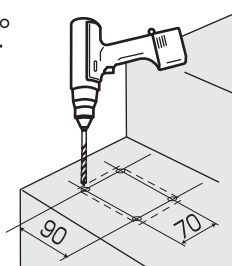


② コーナー柱2本施工

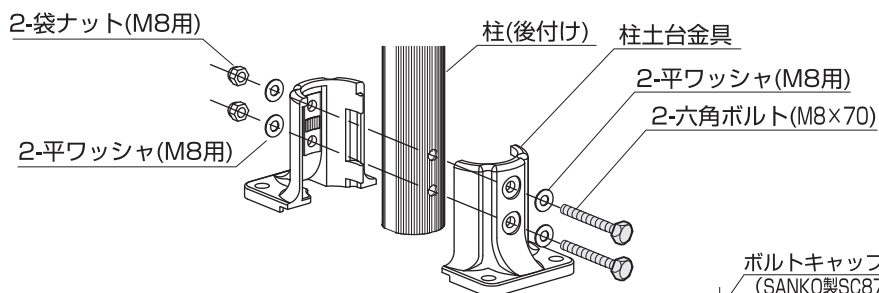


2. 柱土台金具の取り付け

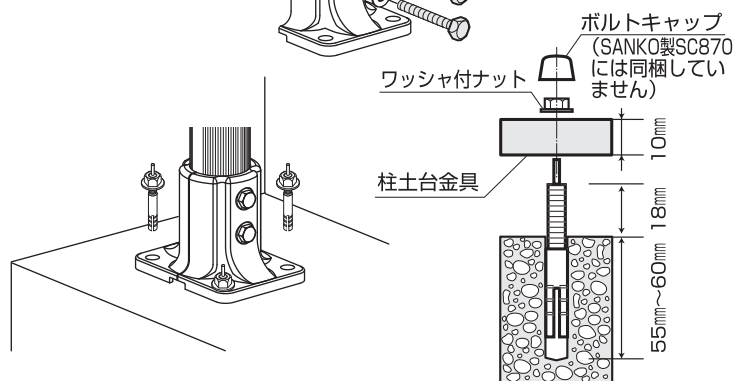
- ① コンクリートドリルφ8.5で下穴をあける。
(穴内の切粉は、ダストポンプなどを用いて除去してください。)



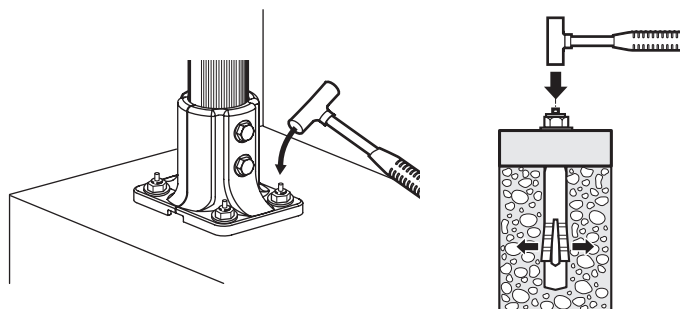
- ② 柱(後付け)に柱土台金具を挟み込んで取り付ける。



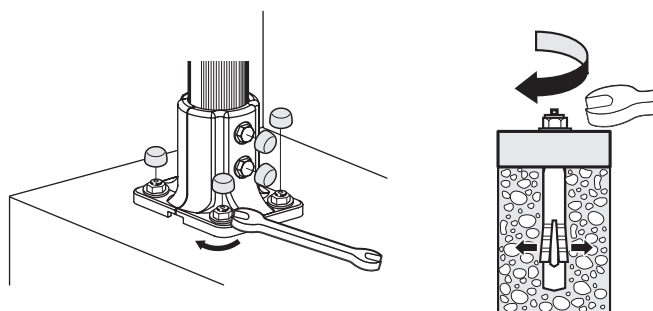
- ③ アンカーにワッシャ付ナットをセットして穴に挿入する。



- ④アンカーの芯棒が本体の頂部と面一になるまで、ハンマーで打ち込む。



- ⑤スパナ類を用いてナットを締め付ける。
(VAT9460□を手配いただいている場合はボルトキャップを取り付けてください。)

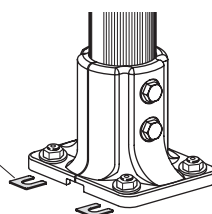


お願い

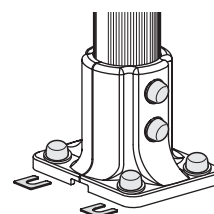
SANKO製SC870には弊社ボルトキャップは取り付けできません。
(ナット寸法が小さいため)

- ⑥角度(3°まで)を調整する場合は、調整用ライナーを柱土台金具と地面の間に
入れ、水平・垂直を出してください。

調整用ライナー



<SANKO製SC870使用の場合>



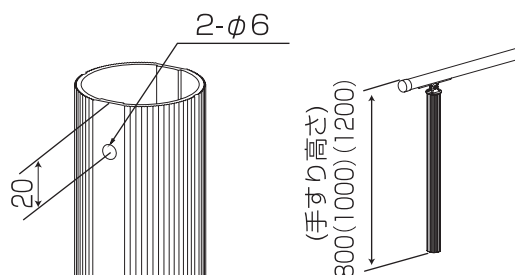
<VAT9460□使用の場合>

3 手すり高さの調整

標準では右図のように手すり高さは800・1000・1200mmに設定していますが、低くしたい場合は上部をカットし右図の位置に穴をあけなおしてください。

お願い

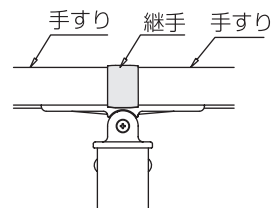
柱の両側に穴加工(φ6)をしてください。



施工手順 (つづき②)

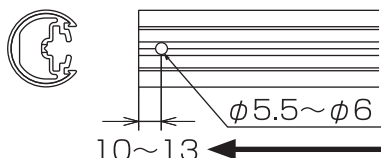
4 手すりの穴加工

- 手すりと手すりを継手を使用して連結する場合。
手すり端部に穴加工は不要です。



右図のように手すり同士で連結する場合は穴加工は不要です

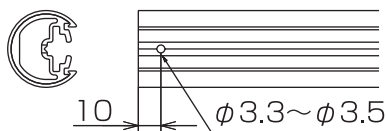
- 手すり端部にエンドエルボ(15ページ参照)を取り付ける場合。



お願い

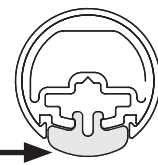
13mm以上になると取り付けできない場合がありますのでご注意ください。

- 手すり端部にエンドキャップ(15ページ参照)・コーナー柱上部自在継手(13ページ参照)・壁面自在継手(15ページ参照)・自在継手(13ページ参照)を取り付ける場合。



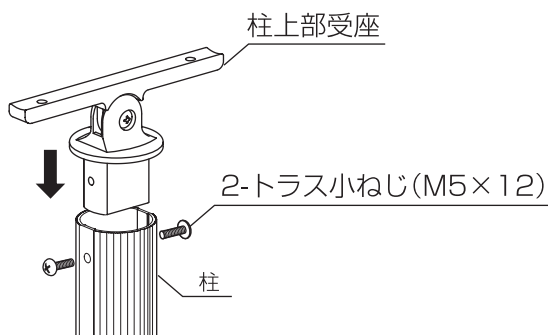
お願い

同梱の手すり下部材は先に取りはずしておいてください。

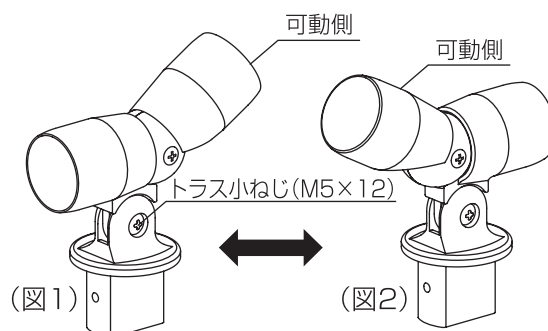
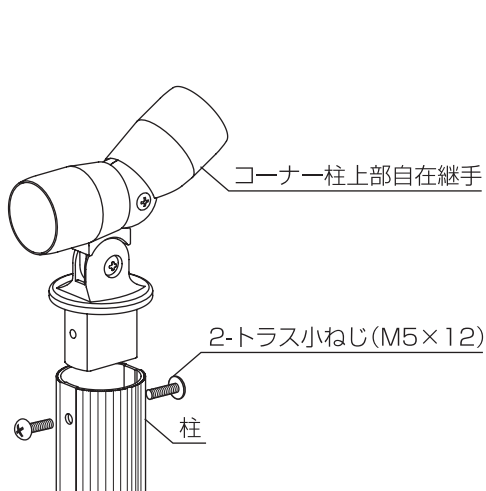


手すり下部材

5 柱上部受座と柱の取り付け

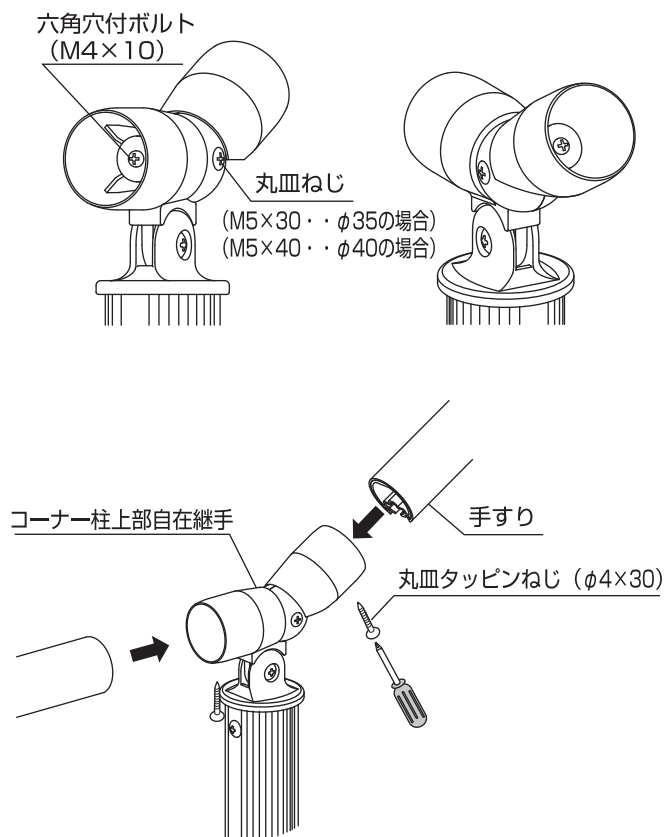


6 コーナー柱上部自在継手と柱の取り付け



可動側を図1から図2に変更する場合は、中央部のトラス小ねじ (M5×12) をはずして左右勝手を変更してください。(2段用コーナー柱自在継手も同様に変更可能です。)

7 手すりとコーナー柱自在継手の取り付け



お願い

手すりを取り付ける前に、手すりの切断が必要な場合は、切断後に穴加工をしてください。
(12ページ 4 を参照)

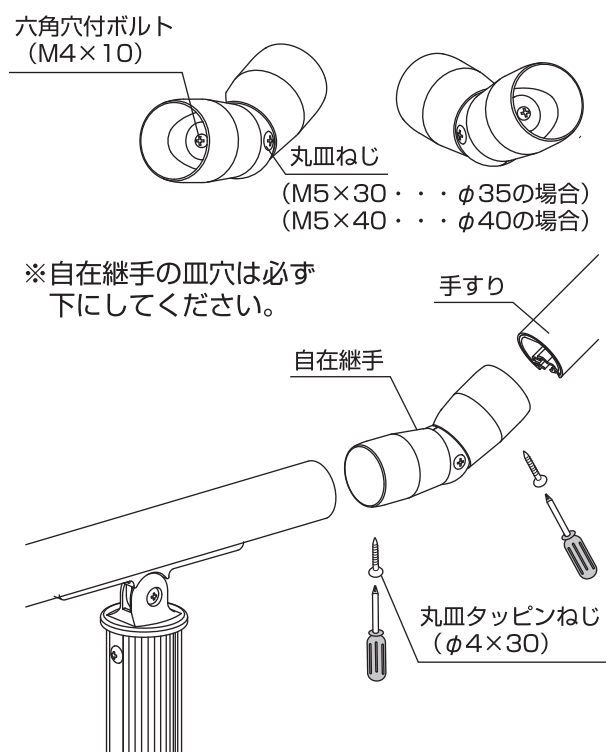
1. 角度を調整した後、六角穴付ボルト(M4×10)を締める。
(締め付けすぎると調整できません。締め付けすぎないようにしてください。)
2. 手すりをコーナー柱自在継手に挿入し、丸皿タッピンねじ(φ4×30)にて取り付ける。

お願い

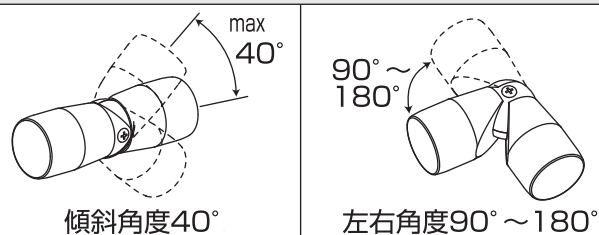
充電ドライバーは使用しないでください。
(ねじがきかなくなる場合があります。)

3. 手すりの位置・角度の調整を行なう。
4. 丸皿ねじ(M5)を本締めする。

8 手すりと自在継手の取り付け



調整可能角度



1. 角度を調整した後、六角穴付ボルト(M4×10)を締める。
(締め付けすぎると調整できません。締め付けすぎないようにしてください。)
2. 手すりを自在継手に挿入し、丸皿タッピンねじ(φ4×30)にて取り付ける。

お願い

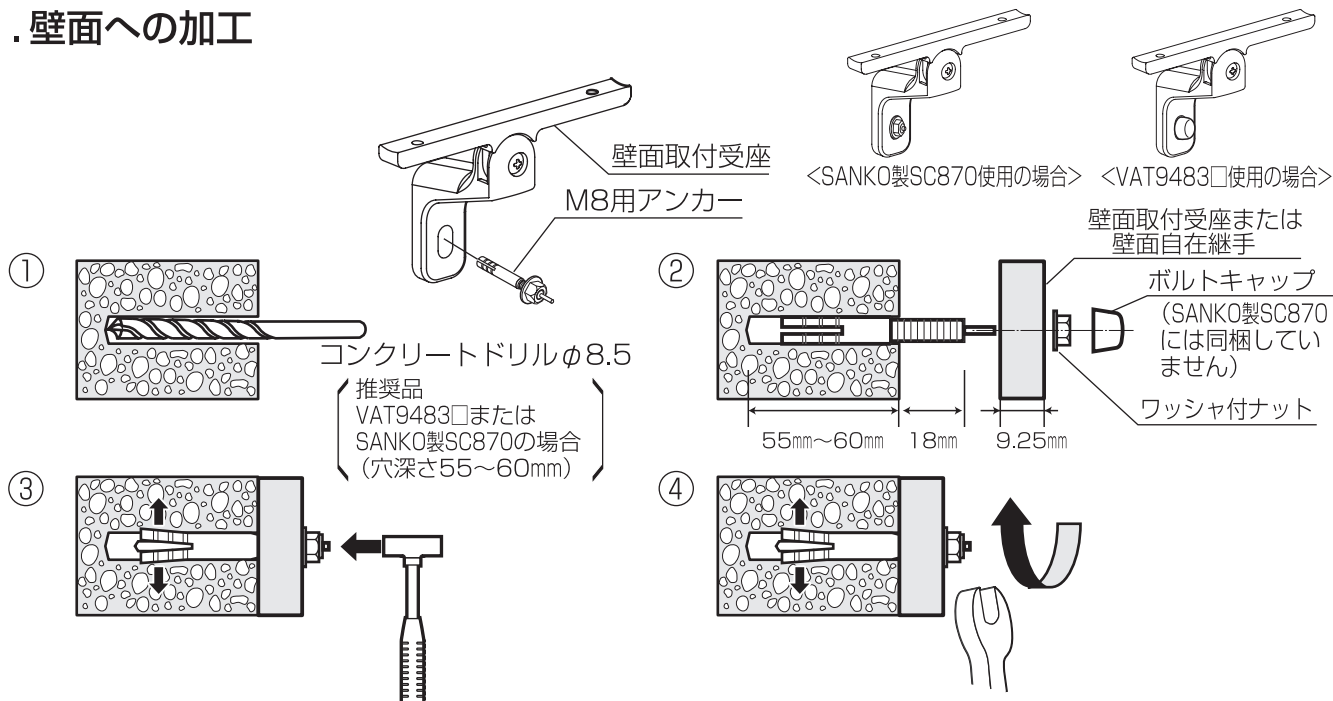
充電ドライバーは使用しないでください。
(ねじがきかなくなる場合があります。)

3. 手すりの位置・角度の調整を行なう。
4. 丸皿ねじ(M5)を本締めする。

施工手順 (つづき③)

9 手すりと壁面取付受座または壁面自在継手の取り付け

1. 壁面への加工

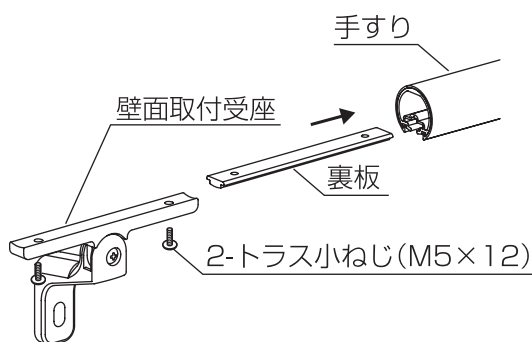


- ① コンクリートドリルφ8.5 で下穴をあける。
(穴内の切粉はダストポンプなどを用いて除去してください)
- ② アンカーにワッシャ、ナットをセットして穴に挿入する。
- ③ アンカーの芯棒が本体の頂部と面一になるまでハンマーで打ち込む。
- ④ スパナなどを用いてナットを締め付ける。(VAT9483□を手配いただいている場合はボルトキャップを取り付けてください。)

お願い

SANKO製SC870には弊社ボルトキャップは取り付けできません。
(ナット寸法が小さいため)

2. 手すりと壁面取付受座の取り付け



- ① 裏板を手すり溝部に挿入する。
- ② 壁面取付受座と裏板をトラス小ねじ(M5×12)にて仮止めする。
- ③ 手すりの角度・位置を調整した後に、トラス小ねじ(M5×12)を本締めする。

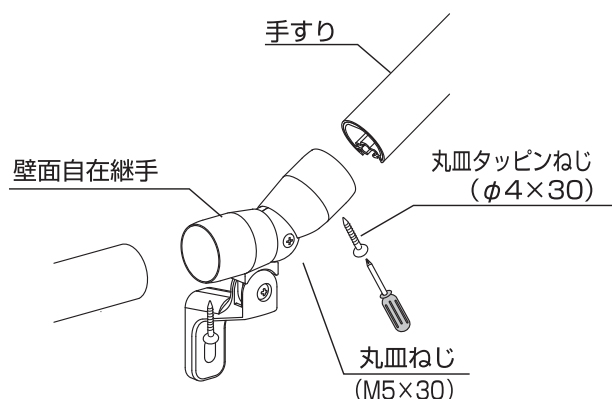
(手すりとの連結の場合)

- ① 裏板を片方の手すり溝部に挿入する。
- ② 裏板を挿入した手すりに継手をはめ込む。
- ③ 継手をはめ込んだ手すりと壁面取付受座を片側のみ仮止めする。
- ④ もう片方の手すりを継手にはめ込む。
- ⑤ 壁面取付受座とその手すりを仮止めする。
- ⑥ 手すりの角度・位置を調整した後に、トラス小ねじ(M5×12)を本締めする。

お願い

継手は必ず壁面取付受座の上で取り付けてください。

3. 手すりと壁面自在継手の取り付け



お願い

手すりを取り付ける前に、手すりの切断が必要な場合は、切断後に穴加工をしてください。(12ページ 4 を参照)

- ①角度を調整した後、六角穴付ボルト(M4×10)を締める。(締め付けすぎると調整できません。締め付けすぎないようにしてください。)
- ②手すりを壁面自在継手に挿入し丸皿タッピンねじ(φ4×30)にて取り付ける。

お願い

充電ドライバーは使用しないでください。(ねじがきかなくなる場合があります。)

- ③手すりの位置・角度の調整を行なう。
- ④丸皿ねじ(M5)を本締めする。

10 手すりとキャップの取り付け

お願い

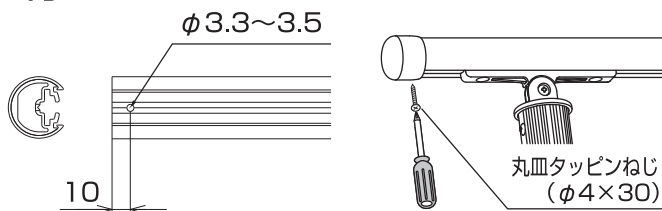
手すりを取り付ける前に、手すりの切断が必要な場合は、切断後に穴加工をしてください。(12ページ 4 を参照)

1. エンドキャップ(VAT4373□)の取り付け

- ①手すりにドリルでφ3.3～φ3.5の穴加工をしてください。
- ②エンドキャップを丸皿タッピンねじ(φ4×30)にて取り付けてください。

お願い

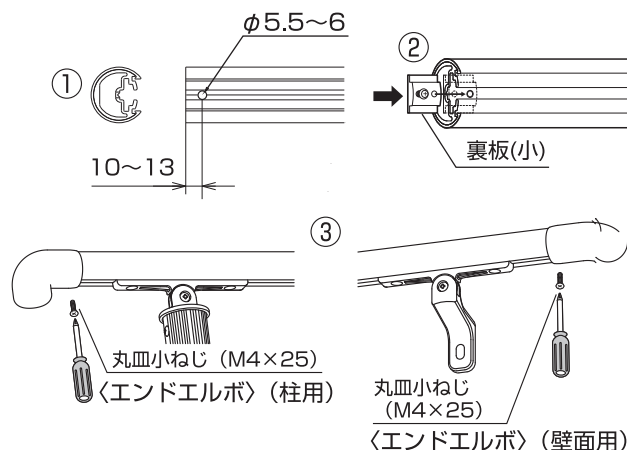
充電ドライバーは使用しないでください。(ねじがきかなくなる場合があります。)



2. 柱用エンドエルボ(VAT4375□)

壁面用エンドエルボ(VAT4376□)の取り付け

- ①手すりにドリルでφ5.5～φ6の穴加工をしてください。
- ②裏板(小)を手すりに挿入し、なべ小ねじ(M4×10ワッシャ付)にて取り付けてください。その際、①であけた穴を裏板のねじ穴部が合致する位置でねじを締め付けてください。
- ③エンドエルボを丸皿小ねじ(M4×25)にて取り付けてください。



仕上げおよび施工後の確認

●施工後、ねじ類の締まり具合をもう一度点検してください。

施主様への引き渡し

1. 日常のお手入れについて、お客様が納得するまで、ご説明をお願いします。
2. 取扱説明書をお渡しください。